

プログラム概要

鹿南少で探そう 遊ぼう 作ろう！ (本所の教育資源を活用したプログラム)

〔 1年 生活科：単元名「たのしい あき いっぱい」
(南薩地域使用教科用図書：東京書籍) 〕

1 ねらい

- (1) 本プログラムは、学校教育と社会教育の一層の連携強化を図り、本所機能の活用による体験活動により、児童生徒の学力向上、豊かな心や健やかな体を育むための機会の充実を目指す。
- (2) 南薩少年自然の家の教育資源を活用し、研修主事の支援による自然散策やクラフト活動等の本所活動プログラムを授業に生かすことで、単元の指導内容の深化に貢献できる。

2 単元計画例 (全 21 時間)

小単元	活動内容	時数	活動の場
こうていで あきを さがそう	<ul style="list-style-type: none"> ・初秋の草花や樹木、虫などの観察 ・木の実や葉などを使った簡単な遊び ・記録 	3	学校
こうえんで あきを さがそう	<ul style="list-style-type: none"> ・公園で遊ぶ ・草花や樹木、虫などの観察 ・記録 	3	近隣の公園
はっぱや みで あそぼう	<ul style="list-style-type: none"> ・秋の自然の中での遊び ・木の実や葉などを使った遊び ・簡単な楽器やおもちゃづくり ・記録 	3	南薩少年自然の家
本所の関わり <ul style="list-style-type: none"> ○ 広大な敷地を生かしたダイナミックな活動 ○ マツやマテバシイなど豊富な樹木 (まつぼっくり・どんぐり等の木の実や落ち葉) ○ どんぐりやまつぼっくりを使ったクラフト (どんぐり人形・まつぼっくりクラフト等) ○ 様々なレクリエーションの紹介・指導 			
あきの ことを つたえよう	<ul style="list-style-type: none"> ・観察や遊びの振り返り ・友達との交流 	1	学校
あきの おもちゃを つくろう	<ul style="list-style-type: none"> ・おもちゃづくりの話し合い ・楽器やおもちゃづくり ・楽器やおもちゃの改良 ・つくった楽器やおもちゃでの遊び ・つくり方や遊び方の工夫 	7	学校
いっしょに あそぼう	<ul style="list-style-type: none"> ・つくった楽器やおもちゃを使った園児との遊び方についての話し合い ・つくった楽器やおもちゃを使った園児との遊び ・記録 	4	幼稚園・保育園 (または学校)

3 少年自然の家のプログラムを活用して実施することの意義

- (1) 本所の自然環境や研修主事による豊富なクラフト活動の体験を通して、児童の学習意欲の向上と学習活動の充実が図られる。
- (2) 小学校初期段階での公共施設の利用の仕方や集団行動など学ぶ機会となる。
- (3) 学校内では収集できない木の実や葉などを集めたり、それらの活用法などに触れたりする機会となり、学校内での学習活動以上に、ダイナミックな学習の展開が期待できる。
- (4) 特別活動（一日遠足）等との組み合わせにより、効果的な授業時数確保の一助となる。

4 本所のクラフト紹介（一部）



(どんぐり人形)



(まつぼっくりクラフト等)



(どんぐりやまつぼっくりを使ったでんでん太鼓)



(どんぐりを使ったマラカス)

5 「主体的・対話的で深い学び」の視点から

	主体的な学び	対話的な学び	深い学び
目指す子どもの姿	○ 自然に触れながら、友達とコミュニケーションをとることを楽しみ、創作に意欲的に取り組もうとする。	○ 友達と相談しながら活動し、課題に取り組むことができる。	○ 自然を観察したり、実際に木の実や葉っぱ等に触れたりする中で季節感に気づく。 ○ 自然散策の中で収集した木の実や葉等を活用して、生活をより楽しくできることに気づく。
指導のポイント	○ 学校で、事前に公共施設におけるのマナー等について学ぶことで、実際の自然散策活動やクラフト制作活動に意欲を持って取り組むことができる。	○ 事前の学習において、少年自然の家の概況や様子などを知らせ、グループで相談しながらどんな活動ができそうか話し合わせておく。	○ 事前に、作品などの具体物を示しておくことで、ある程度活動することを予想させておく。

南薩少年自然の家での展開例【生活科 時数3時間】

1 目標

南薩少年自然の家周辺を散策しながら木の実などを集め、遊んだり、楽器やおもちゃづくりを楽しんだりすることができる。

2 展開

過程	主な学習活動	時間 (分)	指導上の留意点 ※ 評価 ◎所員 ○引率者
導 入	<p>1 南薩少年自然の家の敷地内にある植物等やその後につくるクラフト等についての説明を聞く</p> <p>2 本時のめあてを確認する。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>しょうねんしぜんのいえで、いろいろなあきをみつけて、たのしくあそぼう。</p> </div>	10	<p>○ 本時の導入を行う。</p> <p>◎ 所員が敷地内の植物（葉や木の実）等について説明し、手作りの楽器やおもちゃを紹介をする。</p> <p>○ 自然散策等における安全指導を行う。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <ul style="list-style-type: none"> ・虫対策（むやみに捕まえない等）。 ・川や海に近づかない。 ・単独行動をしない。 ・トイレの場所や水分補給について。 ・集合時刻の確認。など </div>
展 開	<p>3 グループごとに自然散策に出発する。 ※ どんぐりやまつぼっくりの落ちていそうなところをグループで相談しながら散策する。 ※ 木の実などを入れる袋を持参する。</p> <p>4 集めたどんぐりや松ぼっくりを使って遊んだり、楽器やおもちゃをつくらせる。</p> <p>5 完成した作品の鑑賞会を行う。</p>	45 60 10	<p>○ 引率者は、巡回や見守り場所において、グループの様子を確認しながら、どんぐりやまつぼっくりの落ちている場所に導くなどする。（樹木マップ有）</p> <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>※ 秋の自然と関わりたいという思いを持ち、積極的に自然物探しに取り組んでいる。【評価方法：採集物や自然散策の取り組みの様子等】</p> </div> <p>◎ どんぐりや松ぼっくりを使った遊びや、楽器・おもちゃを紹介し、簡単な作り方を説明する。</p> <p>○ 道具の使い方など安全指導をする。</p> <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>※ 集めた材料を使って、遊びや楽器・おもちゃづくりを楽しんでいる。【評価方法：活動中の会話や創作の様子】</p> </div> <p>○ お互いに作品の創意工夫点を見つけ、称賛し合える雰囲気づくりに努める。</p>
終 末	<p>6 活動を振り返る。 ※ 秋を見つけた中で、気づいたことなどを発表する。</p> <p>7 どんぐりやまつぼっくりを使った楽器やおもちゃなどを知り、次時の学習（楽器やおもちゃづくり）について話し合う。</p>	10	<p>○ 引率者は、学習の中での気づきや発見などをメモしておき紹介できるようにしておく。</p> <p>◎ マラカスやけん玉・やじろべえなど、どんぐりやまつぼっくりを使った楽器やおもちゃを紹介して意欲喚起に努める。</p>

南薩少年自然の家 地図

